

令和4年度参考資料

<頁>

- 1 令和4年度大船渡市学校支援活動 評価検証シート 1
- 2 令和4年度家庭教育学級実施実績一覧表 5
- 3 令和4年度青少年体験学習事業実施実績 6
- 4 **【写真】** 令和4年度青少年体験学習事業 7
- 5 令和4年度スクールガード配置事業実施実績 8
- 6 令和4年度学校支援事業実施状況 9
- 7 **【写真】** 令和4年度スクールガード配置事業・令和4年度学校支援事業 . . . 11
- 8 令和4年度学校運営協議会設置事業実施実績 12
- 9 **【議事録】** 令和4年度第3回学校支援活動運営委員会 15

1 令和4年度大船渡市学校支援活動 評価検証シート

事業名	家庭教育学級		
事業目的	学校、保護者、地域住民、行政が連携し、子どもの健全育成、家庭教育力の向上を図る。		
事業目標	① 子どもを取り巻く諸課題についての共通認識を持つ。 ② 課題解決に向けたスキルの向上を図る。		
事業概要 (実施状況)	市内小学校4校、保育園・こども園3園を対象に家庭教育学級を開催した。 (延べ7箇所、延べ参加人数422人)		
評価項目①	学校・家庭・地域等と連携したコミュニケーションの促進		
評価指標	※「大変良かった」「良かった」と答えた人の割合	学習内容の満足度	
評価方法	学習終了後のアンケート	実績	
目標値	80%以上	1校(園)あたりの前年度比参加人数	
実績	94.8%	前年度比同数以上 (R3実績:85.8人)	
達成度	○	△	
評価項目②	学校・家庭・地域等と連携した家庭教育にかかる知識の習得		
評価指標	※「大変良かった」「良かった」と答えた人の割合	※「そう思う」「まあまあ思う」と答えた人の割合	※「概ね理解できた」「要点は理解できた」と答えた人の割合
評価方法	学習終了後のアンケート	学習終了後のアンケート	学習終了後のアンケート
目標値	80%以上	80%以上	80%以上
実績	94.9%	93.7%	95.4%
達成度	○	○	○
成果	<p>評価項目①について、1校(園)あたりの前年度比参加人数が目標値に届かなかった。前年度の実績が高かったこともあるが、実施校(園)の参加人数は概ね良好であったと考える。</p> <p>評価項目②について、アンケートにおいては、「無回答」も少なく、すべて目標値を上回った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止の観点から2箇所中止となったが、オンラインでの開催や、当初予定のなかった小学校からの実施希望があり、当初予定の8箇所に対して7箇所実施できたことは、3年に1回の割合で実施することとした効果が表れた。</p>		
次年度の課題	<p>令和4年度から、小・中学校において、保育園・こども園等と同じく、3年に1回の割合で実施することとしたが、コロナ禍の影響や学校間の日程調整の面から、実施できていない状況にある。</p> <p>こうした状況を踏まえて、令和5年度以降は、中学校区での実施について、各小・中学校単位で実施する等の見直しを考えている。</p>		

達成度 ◎ : 100%以上 ○ : 80%以上~100%未満 △ : 50%以上~80%未満 × : 50%未満

事業名	青少年体験学習事業	
事業目的	これからのまちづくりを支える多才な人材の育成と、子どもに多様な経験を積ませて、青少年の健全育成に寄与する。	
事業目標	① 子どもの創造力を育む。 ② 子どもの自主性を育む。	
事業概要 (実施状況)	保育園等における年中から中学3年生までを対象として、陶芸体験学習及びドローンプログラミング体験教室を開催し、多様な体験学習の機会を提供した(参加人数64人)。 また、年中から小学2年生までを対象として、英語体験教室を2回開催した(参加人数77人)。	
評価項目①	創造力の向上	
評価指標	定員に対する参加率 (定員合計：132人、参加総数：141人)	参加者のうち「新しくやりたいことが見つかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」と回答した参加者の割合
評価方法	実績	学習終了後のアンケート
目標値	80%以上	50%以上
実績	106.8%	57.1%
達成度	◎	◎
評価項目②	自主性の育成	
評価指標	「自分から進んで取り組むことができた」「お子様は意欲的に学習に取り組むことができた」と回答した児童・生徒、保護者の割合	
評価方法	学習終了後のアンケート	
目標値	80%以上	
実績	88.7%	
達成度	◎	
成果	「陶芸体験学習」、「ドローンプログラミング教室」及び「英語体験教室」は、受講申込者が募集定員を上回り、抽選で参加者を決定したこと等から、市民の学習ニーズに沿った魅力ある教室を実施することができたと考えている。 英語体験教室については、抽選で参加できなかった方のため、2回目を実施し、1回目に参加できなかった親子等申込者全員が受講することができた。	
次年度の課題	学習ニーズが高く、人気のある教室を開催していることもあり、抽選等により参加できない申込者が多い状況となっていることから、希望者全員に学習機会を提供できるよう工夫する必要がある。 なお、陶芸体験学習については、令和5年度からは、大船渡市芸術文化協会事業として実施することとし、青少年体験学習事業としては、別の講座の実施を企画する必要がある。 また、英語体験教室について、令和5年度からは、家庭教育学級事業として実施する。	

達成度

◎：100%以上 ○：80%以上～100%未満 △：50%以上～80%未満 ×：50%未満

事業名	学校支援事業	
事業目的	学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するため、地域コーディネーター等を配置し、学校支援活動の推進を図る。	
事業目標	地域住民が、学校や関係機関と連携した学校支援活動を推進する。	
事業概要 (実施状況)	学校より要望のあった地域コーディネーターを6校に5人配置し、生涯学習課に1人配置した。また、地域ボランティアを12校に13人配置し、学校支援を実施した。 (図書ボランティア：12校11人、金管指導ボランティア：1校2人)	
評価項目	地域コーディネーターの人材確保	
評価指標	学校支援活動を推進する地域コーディネーターを配置する	
指標取得先	年間実績	
目標値	15校	
実績	6校	
達成度	×	
評価項目	生涯学習の成果をいかした地域ボランティアの育成	
評価指標	ボランティアの人材確保と育成を図るため、研修会を開催する	研修内容を学校支援ボランティア活動に活用できると回答した人の割合
指標取得先	参加者の割合	受講者アンケート
目標値	75%	80%
実績	64%	100%
達成度	△	◎
成果	<p>① 地域コーディネーターの全校配置には至らなかったが、希望のあった6校に配置し、地域住民のより積極的な学校活動への参画を促した。</p> <p>② 図書支援活動地域ボランティア研修会を大船渡市立図書館の司書を講師に開催した。実際の活動現場の1つである大船渡市立大船渡北小学校図書室で開催することで、普段の業務を踏まえた実践的な学習を行うことができた。 また、研修内容を新・旧ボランティアがどちらも学べる内容にすることで、効果的なボランティア育成を図ることができた。</p>	
次年度の課題	<p>① 単独で活動している各校の地域コーディネーターを集め、各校の実施状況や活動を実施する上での互いの悩みを話し合える機会の提供等、より円滑に業務が進められるよう工夫が必要である。</p> <p>② 学校支援ボランティア研修会において、ボランティアだけでなく担当教諭の参加も呼びかけることで、学校支援における、学校・地域の連携強化を図る。</p> <p>③ 地域コーディネーターの全校配置。</p>	

達成度 ◎：100%以上 ○：80%以上～100%未満 △：50%以上～80%未満 ×：50%未満

事業名	学校運営協議会設置事業
事業目的	地域と連携した学校づくりを目指すため、令和4年度中に学校運営協議会を各校に設置する。
事業目標	協議会委員をはじめとした保護者及び地域の理解・協力を得ることで、学校運営協議会の円滑な運営を図る。
事業概要 (実施状況)	各小中学校において学校運営協議会が設置され、活動が始まった。
評価項目①	学校運営協議会委員の設置・運営
評価指標	学校運営協議会の開催
指標取得先	各小中学校ごとの開催回数
目標値	各小中学校年1回以上
実績	各小中学校ごとに委員を選定し、概ね各学期につき1回以上運営協議会を開催した。
達成度	◎
評価項目②	学校運営協議会委員への研修会等の開催
評価指標	学校関係団体等の講師による制度説明
指標取得先	各小中学校ごとの開催回数
目標値	各小中学校1回以上
実績	各小・中学校の運営協議会に合わせて希望校を対象に開催した。 ※ 2月16日時点開催済：2校、年度内開催予定：3校 ※ 3学期中の学校運営協議会に併せて開催予定としていたが、他の学校行事との兼ね合いもあり全校開催に至らなかった。
達成度	△
成果	① 各小中学校ごとに委員を選定し、各校ごとの特色ある活動(マラソン大会、漁業体験、自然体験、学習補助等)が実施された。 ② 岩手県教育委員会の社会教育主事及び市主任指導主事を講師とし、研修会(令和4年度の実施状況、令和5年度の事業概要、他市町村における活動事例紹介、質疑)を開催した。
次年度の課題	① 活動2年目となることから、1年目の改善点を見直し、学校と地域の協力による児童生徒の教育環境の向上のため、活動の支援を継続する必要がある。 ② 年間の活動が順調に進めることができるよう、委員への研修等、支援を継続する必要がある。

2 令和4年度家庭教育学級実施実績一覧表

学校名等	実施期日	時間	実施場所	学習内容	講師	参加者数	アンケート対象数	アンケート回収数	アンケート回収率	備考	
保育園・こども園	大船渡保育園	1月20日(金)	9:30~11:30	大船渡保育園	防災学習「親子で非常食作り」	防災士 新沼 真弓 氏	52人	26人	26件	100.0%	
	末崎こども園	1月20日(金)	10:00~10:45	末崎こども園	講話「おなかげんきようしつ」	大船渡ヤクルト販売株式会社 課長 木下 理映 氏					新型コロナウイルス感染防止対策のため中止
	あかさきこども園	10月5日(水)	10:00~10:50	あかさきこども園	講話「おなかげんきようしつ」	大船渡ヤクルト販売株式会社 主事 木下 理映 氏	45人	20人	20件	100.0%	
	日頃市保育園	2月27日(月)	10:00~11:00	日頃市保育園	仮)祖父母向け読み聞かせ教室と移動図書館車体験	大船渡市立図書館指定管理者 株式会社図書館流通センター社員	30人	13人	13人	100.0%	
	綾里こども園	6月25日(土)	10:30~11:15	綾里こども園	講話「おなかげんきようしつ」	大船渡ヤクルト販売株式会社 主事 木下 理映 氏	53人	23人	22件	95.7%	
一中学区	盛小学校	12月1日(木)	14:00~15:30	盛小学校	ペアレンタルコントロール実習 「ゲーム機・スマホ・タブレットを家で使うときに覚えておきたいこと」	一般社団法人トナリノ職員企画部 マネージャー 山本 健太 氏	42人	42人	29件	69.0%	令和6年度実施対象校
	猪川小学校	12月1日(木)	18:30~19:30	猪川小学校	講話「発達障がいの話」 ※リモート開催	岩手医科大学 いわてこどもケアセンター 主任臨床心理士 三浦 光子 氏	30人	30人	30件	100.0%	令和5年度実施対象校
	立根小学校	11月1日(火)	13:10~15:35	立根小学校	講話「メディアとの付き合い方と家庭でのメディアルールの作り方」 実習「ペアレンタルコントロール実習」	一般社団法人トナリノ職員企画部 マネージャー 山本 健太 氏	158人	33人	27件	81.8%	
	吉浜小学校	11月19日(土)	9:30~10:30	吉浜小学校	親子で学ぼうインターネット教室	ソフトバンク株式会社 磯崎 靖彦 氏	42人	26人	20件	76.9%	
大中学区	大船渡小学校	中止								新型コロナウイルス感染症拡大により学校間の日程調整がとれなかったことから中止	
	大船渡北小学校										
	☆大船渡中学校										
☆=合同開催事務局							452人	213件	187件		
									アンケート回収率(平均)	90.4%	

3 令和4年度青少年体験学習事業実施実績

令和4年度青少年体験学習事業一覧表

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	7月3日(日) ①10:00～ ②13:30～	陶芸体験学習	三陸町陶友会会員	10組20人 (①午前:5組10人、 ②午後:5組10人)	12組28人 (①午前:6組14人、 ②午後:6組14人)	三陸公民館
2	12月18日(日) ①9:30～ ②13:30～	ドローン プログラミング 体験教室	岩手ドローンスクール 鈴木 良隆 氏 得 孝裕 氏	16組32人 (①午前:8組16人、 ②午後:8組16人)	16組36人 (①午前:8組18人、 ②午後:8組18人)	大船渡市民交 流館・カメラ アホール

令和4年度青少年体験学習(英語スクール)「英語体験教室」事業一覧表

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	6月25日(土) ①未就学児 9:30～10:30 ②小学1～2年生 11:00～正午	英語に触れる活 動(英会話・ゲ ーム・歌・ぬり えなど)	佐藤英会話 佐藤 友紀 氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	22組44人 (①10組20人、 ②12組24人)	大船渡市民交 流館・カメラ アホール
2	10月8日(土) ①未就学児 9:30～10:30 ②小学1～2年生 11:00～正午	英語に触れる活 動(英会話・ゲ ーム・歌・ぬり えなど)	佐藤英会話 ジュリアンアーノット氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	16組33人 (①9組19人、 ②7組14人)	大船渡市民交 流館・カメラ アホール

令和4年度青少年体験学習事業アンケート集計結果

成果指標(全2回の合計値)	目標	実績	達成率
定員に対する参加率	80.0%	106.8%	133.5%
「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」と回答した参加者の割合	50.0%	57.1%	114.3%
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	88.7%	110.9%

4 【写真】令和4年度青少年体験学習事業



▶陶芸体験学習



▶ドローンプログラミング体験教室



▶英語体験教室



5 令和4年度スクールガード配置事業実施状況

スクールガード：11校に36人配置

- ① 引率型：盛小6人、大船渡小4人、末崎小2人、大船渡北小4人、綾里小3人、吉浜小7人
- ② 通学路巡回型：末崎小1人、赤崎小1人、猪川小1人、立根小2人、日頃市小1人、大船渡中3人
- ③ スクールバス添乗型：赤崎小1人

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	10校	29人	3～17日	487時間45分	16時間49分/人
5月	10校	28人	3～19日	550時間30分	19時間40分/人
6月	10校	30人	3～22日	699時間45分	23時間20分/人
7月	10校	29人	3～16日	468時間45分	16時間10分/人
8月	10校	29人	2～10日	319時間45分	11時間01分/人
9月	10校	32人	1～20日	643時間15分	20時間06分/人
10月	11校	34人	2～20日	703時間45分	20時間42分/人
11月	11校	33人	3～20日	673時間45分	20時間25分/人
12月	11校	32人	3～17日	527時間45分	16時間29分/人
1月	11校	33人	1～11日	334時間15分	10時間8分/人
計				5409時間15分	17時間30分/人

6 令和4年度学校支援事業実施実績

地域コーディネーター：5人

① 地域コーディネーター：6校に5人配置

(配置校：末崎小、赤崎小、立根小、日頃市小、吉浜小、東朋中)

※ 赤崎小、東朋中及び生涯学習課の地域コーディネーターを兼務するコーディネーターあり。

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	4校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
5月	4校	1人	1日	3時間00分	3時間00分/人
6月	4校	1人	4日	7時間00分	7時間00分/人
7月	5校	3人	1～3日	6時間45分	2時間15分/人
8月	5校	2人	1日	2時間30分	1時間15分/人
9月	6校	3人	3～8日	14時間00分	4時間40分/人
10月	6校	2人	2～4日	10時間30分	5時間15分/人
11月	6校	1人	2日	4時間00分	4時間00分/人
12月	6校	2人	1～2日	5時間00分	2時間30分/人
計				52時間45分	3時間31分/人

② 生涯学習課配置の地域コーディネーター（7月から配置開始）

	配置人数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
7月	1人	1人	1日	4時間00分	4時間00分/人
8月	1人	1人	2日	6時間00分	6時間00分/人
9月	1人	1人	1日	2時間00分	2時間00分/人
10月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
11月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
12月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
1月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
計				12時間00分	3時間00分/人

地域ボランティア：13人

① 図書支援活動地域ボランティア：12校に11人配置

配置校：盛小1人、大船渡小2人、赤崎小2人、猪川小4人、立根小1人、
大船渡北小4人、越喜来小2人、吉浜小1人、第一中4人、大船渡中4人、
末崎中3人、東朋中2人

※ 複数校兼務するボランティアがいるため、総数と異なる

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	11校	8人	1～6日	95時間30分	11時間56分/人
5月	12校	10人	1～8日	184時間00分	18時間24分/人
6月	12校	9人	3～11日	227時間00分	25時間13分/人
7月	12校	10人	1～16日	272時間15分	27時間14分/人
8月	12校	11人	1～12日	201時間00分	18時間16分/人
9月	12校	11人	1～12日	224時間00分	20時間22分/人
10月	12校	11人	1～12日	220時間00分	20時間00分/人
11月	12校	11人	1～10日	236時間45分	21時間31分/人
12月	12校	11人	1～10日	208時間45分	18時間59分/人
計				1869時間15分	20時間19分/人

② 金管支援活動地域ボランティア（盛小2人配置）

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
5月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
6月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
7月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
8月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
9月	1校	2人	4日	5時間15分	2時間37分/人
10月	1校	2人	3～4日	4時間45分	2時間22分/人
11月	1校	2人	7日	9時間45分	4時間52分/人
12月	1校	2人	5日	6時間30分	3時間15分/人
計				26時間15分	3時間17分/人

7 【写真】令和4年度スクールガード配置事業・令和4年度学校支援事業



▶引率型スクールガード (盛小学校)



▶添乗型スクールガード (赤崎小学校)



▶図書支援活動地域ボランティア (大船渡北小学校)



▶図書支援活動地域ボランティア研修会 (大船渡北小学校)



8 令和4年度学校運営協議会設置事業実施実績

令和4年度学校運営協議会の実践について

1 学校運営協議会委員の設置・運営実績

学校	人数	主な役職
盛小学校	14	学校評議員、PTA役員、こども園長等
大船渡小学校	10	学校評議員、PTA役員、スクールガード等
末崎小学校	14	学校評議員、RTA役員、こども園長等
赤崎小学校	14	地区公民館長、PTA役員、図書ボランティア等
猪川小学校	15	地区公民館長、PTA役員、民生児童委員等
立根小学校	14	学校評議員、PTA役員、読み聞かせボランティア等
日頃市小学校	15	地区公民館長、PTA役員、郷土芸能指導者等
大船渡北小学校	14	学校評議員、PTA役員、放課後児童クラブ職員等
綾里小学校	13	学校評議員、スクールガード、漁家等
越喜来小学校	12	学校評議員、こども園職員、放課後学童クラブ職員
吉浜小学校	13	地区公民館長、郷土芸能指導者、地域企業関係者等
第一中学校	13	学校評議員、地区公民館長等
大船渡中学校	13	学校評議員、PTA役員、保育園長等
末崎中学校	11	地区公民館長、PTA役員、漁家等
東朋中学校	14	学校評議員、保育園長、地域企業関係者等

令和4年度より、市内小中学校に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施することで、家庭や地域と連携した学校づくりを目指した。

学校運営協議会委員は各校15人以内とし、全15校で199人が委嘱を受けた。年度内に3回程度協議会を開催し、学校の運営方針、反省、学校の創立150周年行事、地域コーディネーターの選出・検討等について協議を行った。

【熟議の内容】

- ・下校時避難訓練の運営について～地域と学校でどのような下校時避難訓練が可能か～
- ・この地区だからこそできる「復興教育」
- ・立根の子どもたちに「誇り」と「夢」を育むために、私たちにできることは
- ・これからの日頃市小学校のあり方について
- ・子どもたちに身に付けさせたい力
- ・綾里だからできる復興教育
- ・どのような子どもを育てたいか

【成果】

学校運営協議会を設置した結果、様々な立場の方が委員となったことで、多角的な視点で学校への意見を聞くことができた。また、地域の実態に応じた対応をすることで、下記のとおり地域の人材の活用ができた。

- ・地域学習の講師
- ・防災学習の講師
- ・環境学習（川、水生生物）の講師
- ・学校農園補助、農業体験、指導（畑、田）
- ・漁業体験補助、指導（わかめ、ウニ）
- ・伝統芸能の指導、講話
- ・昔遊び補助、指導
- ・まち歩きのコーディネーター
- ・家庭科調理実習、ミシン製作、裁縫の補助
- ・放課後個別指導
- ・放課後の見守り
- ・タブレット学習の補助

2 学校運営協議会研修会の開催実績

開催日	学校名
2月9日	日頃市小学校
2月14日	第一中学校
2月22日	盛小学校
3月1日	越喜来小学校
3月2日	東朋中学校

※ 3学期中の学校運営協議会に併せて開催予定としていたが、学校行事との兼ね合いもあり全校開催に至らなかった。

【研修会の内容】

- ・国、県、市の動向について
- ・令和5年度予算案のポイントについて

学校運営協議会を設置するにあたり、各校から、「適任者を探し出すのが大変」、「そもそも何を協議すればいいか悩む」などといった問合せを受けた。

運営協議会委員は特別な役職ではなく、これまでの学校運営に関わってきた地域の方々に委員として協力してもらうこと、地域学校協働活動は新しい活動を考えるのではなく、最初は既存の活動、できる活動から始め、運営協議会を通じて徐々に活動の幅を広げていくことが重要であることを伝えた。

3 市内における地域学校協働活動の例

○川探検（立根小学校）

総合の学習として立根川の川探検を行い、準備段階から地域住民の協力により河川敷の草刈りをしていただき、当日は、水生生物調査の支援、安全の見守りをしていただいた。

○マラソン大会（盛小学校）

盛町中央通り商店街をコースとして校内マラソン大会を開催。運営協議会を通じた周知により、地域住民による会場準備、児童の安全確保の支援をいただき、当日は地域住民による温かい応援をいただいた。

○ホタテの耳吊り体験（吉浜小学校）

地域の養殖漁業者を講師に迎え、漁港作業場で地域住民の指導を受けながら地域の漁業であるホタテ養殖の耳吊り作業を体験した。

【写真】令和4年度地域学校協働活動実践状況



▶マラソン大会（盛小学校）



▶川探検（立根小学校）



▶ホタテの耳吊り体験（吉浜小学校）

9 【議事録】令和4年度第3回大船渡市学校支援活動運営委員会

会議名	令和4年度第3回大船渡市学校支援活動運営委員会
日時	令和5年2月17日(金)から2月24日(金)まで
場所	書面開催
出席者	運営委員会委員：鎌田賢委員長、佐藤和生委員、菊地尊委員、船渡定子委員 ※ 菅生裕之委員は、提出期限内に意見書の提出がなかったため、欠席とする。
会 議 内 容	
<p>学校支援活動運営委員の都合等を考慮し、書面により開催することとした。</p> <p>※ 令和5年2月17日(金)に各委員へ会議資料と意見書を送付し、2月24日(金)までに意見書を提出してもらうこととした。</p> <p>〈総括〉</p> <p>【家庭教育学級及び青少年体験学習事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも様々な工夫を凝らして実施できたことと、事業の内容に対して高く評価する声が多く寄せられた。 ・令和5年度以降、参加者のニーズに合った新たな講座の開設を望む声もあった。 <p>【スクールガード配置事業及び学校支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の重要性や、スクールガード及び地域コーディネーターの人材確保を望む声が多く寄せられた。 ・学校や地域住民の意見を聞きながら、より良い学校支援を実施できるよう工夫が必要である。 <p>【学校運営協議会設置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から学校運営協議会の設置により、より良い教育活動が展開できたという声が寄せられた。 ・特に中学校では、学校区が広範囲なことによる活動の難しさや、地域コーディネーター確保による事業の充実を望む声が寄せられた。 <p>各事業に対する主な意見は下記のとおり。</p> <p>協議第1号 令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の総括について</p> <p>○ 家庭教育学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から参加者から高評価を得ている。今後3年に一回の実施という制限が課せられると、せっかくの取り組みが継続されない地区がでてくることが考えられる。また、中学校区での実施となれば、第一中学校のような学区が広範囲にわたる地区において、参加者のニーズにあった内容の選定や参加体制の面で今までのような地域密着の取組がされない可能性が高い。これまでのように、各団体から実施の希望があった場合には、可能な限りバックアップしてほしい。(鎌田委員長) ・家庭教育学級においては、コロナ禍でも様々な工夫を凝らして取り組んでいる。評価項目の1つである参加人数の他にも、評価項目②の知識の習得や参加者の感想など、質の部分の評価もさらに大切にしていける必要があると感じた。(佐藤委員) 	

- ・コロナ禍にあっても、一時期よりも学級を実施してくれる施設が増えてきていることに、現場の方々の理解と協力があつてこそ、と感謝。(船渡委員)
- 青少年体験学習事業について
 - ・長期休業中に、子ども達に様々な体験をさせることはとても有意義な活動であると思うが、会場までの交通手段がなく、参加できない子どもたちもいる。例えば、長期休業中に子どもたちが集まる学童保育クラブのようなところで体験学習が実施できないだろうか。実施回数や日程等調整が必要にはなるが、確実に各地区の子ども達が参加でき、貴重な体験をすることができる。(鎌田委員長)
 - ・英語体験教室の回数を増やすことで、申込者全員が受講することができ、事務局の臨機応変な対応が良かったと思う。(船渡委員)
- スクールガード配置事業
 - ・学区が広範囲にわたる 11 校に 36 人のスクールガードでは、子ども達の安全な登下校を見守ることは難しいのではないかと。今後も人材の確保に向けて、各校とも協力しながら対策を講じる必要がある。(鎌田委員長)
 - ・子ども達が安全に登下校するためにスクールガードは必要である。人材確保の難しさ、毎年の課題だとは思ふ。(船渡委員)
 - ・スクールガード配置事業及び学校支援事業は、とてもいい事業であると感じている。スクールガードに関するアンケートを見ても、肯定的な回答や感謝のコメントが多い。また、児童にとっても、自分達の安全を守ってくれる地域の方という思いが強い。(佐藤委員)
- 学校支援事業
 - ・積極的に地域を巻き込んで、次のステップに移る学校もある。写真、動画の記録を活用して、他校の取組を共有し、「トップランナー基準」を基本として、現在の理想を超えてほしい。まずは共有。そこに必要なのは謙遜のないプレゼン。(菊地委員)
- 学校支援事業、学校運営協議会設置事業
 - ・本年度より学校運営協議会として、地域と学校が協働して教育活動を行うことが組織化された。これまでも学校と地域が協働して活動してきたが、組織として活動を見直すことで、より効果的で無理のない活動の内容を協議することができた。地域の方々を動かすためには、地域コーディネーターの果たす役割が大きいので、適切な人材を各校に配置することが必要である。地域コーディネーターの候補となる人材を学校に紹介していただければありがたい。(鎌田委員長)

協議第 2 号 令和 5 年度大船渡市地域学校協働本部事業の評価検証方針について

- 家庭教育学級
 - ・英語スクールをこの事業でやるのが素晴らしい。この流れで国語と読書をつなぐ教室を提案したい。学者や教育のプロの講座ではなく、大学受験生を持つ親のリアルなアドバイスが得られる場の方が良いと感じている。国語は、数学にも英語にも密接に繋がり、全てを底上げする教科。大学受験の文章題を制限時間内に解答しきるためには、幼少期からの

読書の習慣づけが大事。今から間に合う読書のはじめの一步みたいな流れで、市内の学力の底上げが図られれば、と理想が膨らむ。(菊地委員)

○ 青少年体験学習事業について

- ・陶芸も体験教室も好評で、十分な成果を挙げている中、次年度は別の事業の中で実施予定とのことで、別の事業に移っても、引き続き充実させていってほしいと思う。また、同時に新たな講座開設に向けて、十分な検討を期待する。(船渡委員)

○ スクールガード配置事業

- ・参考資料にもあったが、会社員を関わらせることを視野に入れた方が良いと感じている。個人としては、仕事を抜け出せないのが、難しいが、企業の地域貢献が先に立てば、実現可能になる。企業としても、目に見える地域貢献ができるメリット有。ゴミ拾いより素晴らしいと考える。市役所職員のゴミ拾いを、スクールガードにあてるのも良いのでは。
(菊地委員)

○ 学校運営協議会設置事業

- ・中学校などは、統合により地域が広範囲になる中での活動となるので、難しさを感じる。これから充実していくことを願う。(船渡委員)